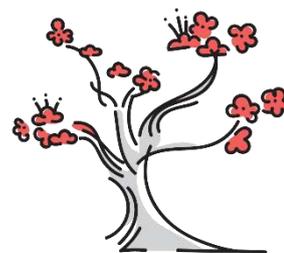


全国保健師長会 栃木県支部便り



発行
全国保健師長会
栃木県支部
令和7年2月吉日
第46号



支部長あいさつ 栃木県支部長 太田 由希子 (安足健康福祉センター)



年度末を迎え、皆様におかれましては御多忙のことと存じます。

全国保健師長会栃木県支部の活動に対する御協力に心から感謝申し上げます。

また、令和6年1月の能登半島地震に続き、同年9月の豪雨により被災された方々に御見舞い申し上げます。平穏な日常が一日でも早く戻ることを心よりお祈り申し上げます。

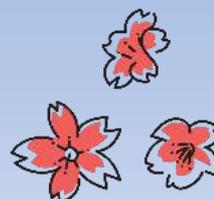
さて、当支部の後期の活動として、令和6年9月に開催いたしました研修会にはたくさんの御参加をありがとうございました。「保健師記録と開示請求」をテーマに保健師記録及び開示請求の現状について皆様と共有し、対応の理解を深めることができました。御多忙の中、遠方からお越しいただきました、山形県立保健医療大学菅原京子先生に心から感謝申し上げます。

今年度、全国保健師長会では、「変わりゆく地域の健康課題に対峙する公衆衛生看護活動の展開～『誰ひとり取り残されない』保健師活動の転換期を仲間とともに乗り越える～」を活動テーマとし、10月、11月に開催された3つの研修においては、社会の変化に対応するための人材確保、人材育成が主要なテーマとして取り上げられました。今後さらに保健師に求められることは、人口減少、高齢化率上昇等による影響を踏まえ、分析や予測を行いながら、課題をより具体的に捉え、ソーシャルキャピタルの醸成や地域コミュニティを巻き込むスキル、ICTの積極的活用等、多岐にわたり、保健師の業務はさらに専門化、高度化が進むと言われています。

この程、厚生労働省においては、「第1回2040年を見据えた保健師活動のあり方に関する検討会」(令和6年12月25日)が開催されました。2040年までに人口構造や社会環境のさらなる変化が生じるとの予測に基づき、引き続き保健師が地域保健活動を展開していくためには、自治体保健師の確保・育成を含め、施策の優先順位や重点化を意識し、効率的・効果的に進めていく必要があることから、保健師に今後どのような役割が期待され、どのように変わっていくべきか、保健師の未来像についての議論が始められています。

このような中で、私たちが直面する課題は多様となっていますが、公衆衛生の向上を目指す保健師活動の実践と保健師の未来を見据えた継承に向けて、引き続き、皆様と共に研鑽を重ねて参りたいと考えております。

本年も何卒よろしくお祈り申し上げます。





日時: 令和6年9月14日 (土) 13時30分~16時
場所: とちぎ健康の森 小会議室
講話: 「保健師記録と開示請求」
~適切な保健師記録としくみづくりに向けて~
講師 山形県立保健医療大学
保健医療学部 看護学科
教授 菅原 京子 氏

参加者: 36 名



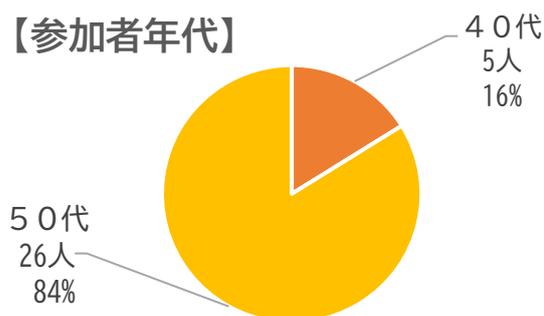
菅原先生より

- ◆ 保健師記録の開示請求を求められる場面の確認と開示請求事例の解説
について御講話をいただきました。
- ◆ 開示請求への向き合い方について、冷静に対応すること、修正や隔べいは絶対にしないこと、「一人で抱えない」「抱え込まない」、話し合える体制や雰囲気づくりが大切である。
- ◆ 保健師記録について、手法や情報整理とアセスメントのポイントについて、様式やファイリングの整備においては職場の仕組みづくりが大切である。
などの御助言をいただきました。

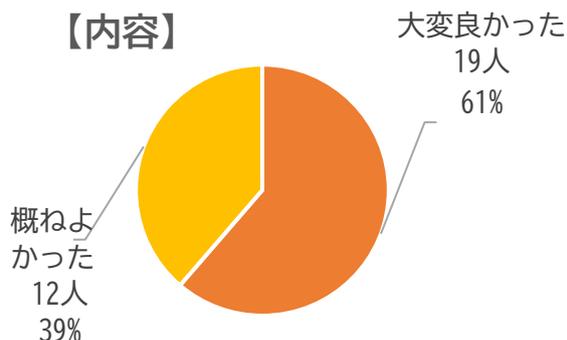
受講者アンケート結果

回収率 86.1%

【参加者年代】



【内容】



【感想・意見】

- ・開示請求の具体例を多数伺うことができて大変参考になった。記録を通した現任教育に取り組んでいきたい。
- ・情報公開の手続きや情報公開の全面公開への流れがわかった。記録のポイントが再確認できた。
- ・新任期保健師の記録指導に悩んでいたため、教えていただいたポイントや振り返りのポイントを参考にしたい。
- ・多職種が職場におり、どう記録を取っていったらよいか、他市町の取り組みが聞けてよかった。



令和6年度 全国保健師長会 北関東甲信越ブロック研修会 報告

書記 小野澤 典子 (安足健康福祉センター)

- 日 時: 令和6年10月12日(土)13時30分~16時
- 会 場: 新潟市保健所(新潟市総合保健医療センター)2階講堂
- 対 象 者: 北関東・甲信越ブロック支部会員等(茨城県・栃木県・群馬県・新潟県・山梨県・長野県・新潟市)
- 開催方法: 参集およびWEB方式のハイブリッド形式
- 参 加 者: 106名(本県からは参集4名、WEB参加14名)
- 内 容: (1)報告 ①全国保健師長会活動報告
②令和5年度地域保健総合推進事業費研修事業
~全国保健師長会(独自)調査研究事業の結果報告
全国保健師長会 会長 前田 香 氏
(2)講演 テーマ「行政保健師の人材育成~共に育つ組織をめざして~」
講 師 新潟青陵大学大学院看護学研究科/大学看護学部看護学科
教授 坪川 トモ子 氏
(3)グループワーク テーマ「共に育つ組織をめざして」
~リーダー保健師として心がけていること、これからやりたいこと~
講 評 新潟青陵大学大学院看護学研究科/大学看護学部看護学科
教授 坪川 トモ子 氏

報告では、松本会長から今年度の活動方針である変わりゆく地域の健康課題に対峙する公衆衛生看護活動の展開~「誰ひとり取り残されない」保健師活動の転換期を仲間とともに乗り越える~に基づく活動状況及び令和5年度に実施した「健康危機管理における保健活動を推進する統括保健師間ネットワーク構築に関する調査事業」についての説明がありました。

講演では、行政保健師の人材育成をテーマに、2040年問題に向けた時代の要請について、保健師活動の現状として担当地区制の中で感じていることや悩み、新任期育成に係る課題、地域活動をどのように考えたらよいか、それらの現場の声から作成した「保健師のための地域活動に関する評価尺度」についての説明がありました。また、育ち合う組織づくりについては、今どきの若者との「4つの向き合い方」として、①居場所をつくる、②一緒に考える、③コミュニケーション不足の解消、④基本はほめる~コーチングが必要で、その具体的な対応方法について説明いただきました。さらに、管理期の保健師である私たちを“指導者の樹”に例えて、①マインド:「看護観」などの様々な価値観、指導者としての心構え、②スキル:指導の三要素(聴く・訊く/観る・看る/伝える)について、後輩保健師達に思考・支援プロセス、アイデンティティを言語化して伝えていくこと、育ち合うための環境づくりを実践していくことの必要性をお話いただきました。

グループワークでは、講話内容を踏まえて5名程度のグループ構成で、リーダー保健師として心がけていること、これからやりたいことの意見交換を行いました。新任期保健師だけでなく同僚保健師や他職種も含めて人材育成で悩みつつ日々の活動をしていること、実際に環境づくりやコミュニケーションの実践例も情報交換でき、メンバーの発言で共感したり新たな知識を得られたりと楽しい雰囲気の中で話合うことができました。

本研修に会場参加する機会をいただき、モチベーションを高める講話をお聞きでき、また他県の自治体での人材育成の取り組み等の情報交換ができて大変有意義な時間を過ごすことができました。

令和6年度 全国保健師長会 研修会 報告

副支部長 若林 珠江（精神保健福祉センター）



- 日 時：令和6年11月8日（金）午前10時～16時30分
- 会 場：福井県協協ビル
- 開催方法：集合およびWEB方式のハイブリッド形式（参加約150名）
- 内 容：テーマ「地域包括ケア～誰ひとり取り残さない保健活動を目指して」
 - 講演Ⅰ 「地域における保健師活動の推進に向けて」
厚生労働省 健康・生活衛生局 健康課 保健指導室 室長 後藤友美氏
 - 講演Ⅱ 「地域共生社会と地域包括ケアシステム～地域から始める共生社会づくり～」
東京都 健康長寿医療センター研究所 副所長
東京都 介護予防・フレイル予防推進支援センター センター長 藤原佳典氏
 - 講演Ⅲ 「分野横断別地域包括ケアシステムの構築における統括保健師の役割」
武蔵野大学 看護学部 学部長・教授 中板育美氏
 - 実践報告① 「精神障がい者を地域全体で支える仕組みづくり～「にも包括」支援事業の取り組み～」
岐阜県 健康福祉部 保健医療課 主任技師 田近俊哉氏
 - 実践報告② 「母子保健の更なる充実に向けた取組 ～児童福祉との協働～」
三重県 桑名市役所 子ども未来部 子ども総合センター 母子保健係
センター長補佐兼係長 石田紀子氏
 - 実践報告③ 「脳べるプロジェクト」～毎日ひと歩きの推進～
福井県 池田町 保健福祉課 課長代理 富田路子氏

講演Ⅰでは、令和6年能登半島地震における保健師活動等や自治体保健師の確保や人材育成の課題について話がありました。災害時に外部の様々なチームが派遣されることがデフォルトになってきているが DHEAT と保健師チームの協働・連携・役割分担が不十分であったり都道府県と市町村との混合チームが機能するための情報共有や後方支援体制の整理などの課題が明らかになった、また自治体保健師の確保等については、統括保健師の配置が進んできていること、その機能を発揮するためには職位とセットと考えていく必要があるということでした。

講演Ⅱでは地域共生社会の基盤はつながりを作っていくこと、そしてつながりを作るには多世代型の仕掛け作りが必要であり、その実践の場として「職域との連携」「学校との連携」の実際について報告がありました。

講演Ⅲは栃木県でも研修講師として来県いただいている中板氏でした。健康日本21（第三次）の新たな視点として健康に関心の薄い者など幅広い世代にアプローチできるため自然に健康になれる環境づくりの推進があげられたこと、ハイリスクアプローチだけでなくポピュレーションアプローチの取組に必要性、その中での保健師の担う役割など伺い、改めて予防の視点や保健師活動について考える機会になりました。

実践報告については、それぞれその地域の課題について保健師間や関係機関の連携による積み重ねから事業展開、評価とPDCA サイクルを回して丁寧に地域活動を実践していることが伺え刺激になりました。

今回研修に参加する機会をいただき他県の自治体の方々の実践報告や現状課題を聞くことができたことは大変有意義な経験となりました。ありがとうございました。



第46回全国保健師長会代議員総会研修会 報告

会計 渡辺 理子 (矢板市)

- 日 時：令和6年11月9日(土)午前9時30分～16時
- 会 場：福井県協協ビル
- 開催方法：集合および You Tube の同時配信によるハイブリッド方式(参加約150名)
- 内 容：

基調講演

「次期統括保健師の育成 ～管理期に向けた中堅保健師の人材育成～」
国立保健医療科学院生涯健康研究部 主任研究官 茂木りほ 氏

実践報告①

「管理期に向けた中堅期の育成～中堅期保健師の自己効力感を高める働きかけ～」
大分県福祉保健部健康政策感染症対策課 地域保健推進監 池田裕美 氏

実践報告②

「大阪府における管理期に向けた中堅期保健師の人材育成～管理期のコンピテンシーモデル作成の取組み～」
大阪府健康医療部健康医療総務課 課長補佐 田中佐代子 氏

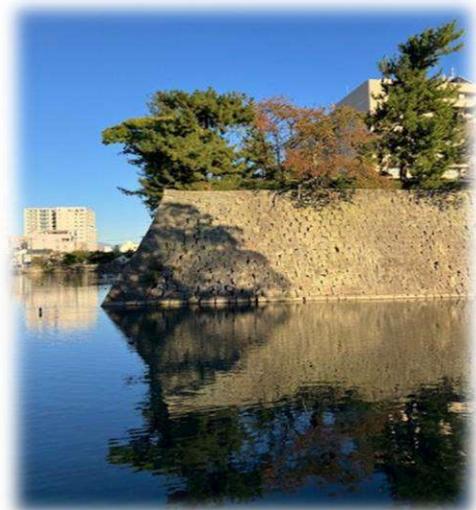
第46回代議員総会は福井県福井市で開催され、福井駅では恐竜が出迎えてくれました。午前は総会、ブロック別および各委員会事業報告があり、多岐にわたる全国保健師長会の活動が報告されました。

午後の基調講演では、中堅保健師が抱える状況を理解し、過度なプレッシャーを与えずモチベーション向上のための具体的な取組み内容をお示しいただきました。そして、保健師の教育は保健師のみが行うのではなく、職場の事務の方も巻き込んで一緒に育てていく職場環境が大切とまとめられていました。

また、実践報告では、話し語り合うことでモチベーションがあがる、中途採用が増え経験が多く入ってくる人ほど疑問が多い、それは当たり前なので丁寧に対応していく管理職の力量が問われる、などの講演がありました。具体的行動例を示すこと、具体的言語化することがより大切であると再認識しました。

全国保健師長会の活動を肌で感じる貴重な機会をいただきありがとうございました。

次回開催は徳島県です。



～第71回精神保健福祉全国大会を終えて～

栃木県保健福祉部障害福祉課 星野 真有美



令和6年10月11日、栃木県総合文化センターにおいて、『「今こそ歩みを」～いつでも繋がり支え合う地域共生社会～』をテーマに、第71回精神保健福祉全国大会を開催いたしました。

おかげさまで県内外から400名を超える方々の御参加をいただき、盛会のうちに終えることができました。

記念講演では、「災害時要配慮者に対する医療の取り組みと課題」と題し、公益社団法人日本医師会の黒瀬巖常任理事より、地域に根差した医師会活動であるJMATの活動について御講演いただき、地域共生社会の実現に向け、災害支援における「寄り添い、支え、繋げる」という日本医師会(JMAT)の活動の視点を御教示いただきました。

また、シンポジウムにおいては、「『にも包括』の現在とこれから～さまざまな立場からの提言～」と題して、地域診断を基本として、予防の視点やポピュレーションアプローチとしての普及啓発、顔の見える協議の場の大切さやアウトリーチ活動など、さまざまな立場の方からの御報告により、課題と向き合い、一つひとつ解決していくことで「にも包括」を進めていく環境が整っていくことを再認識いたしました。また、自分事として関わること、地域共生社会を進めていくことについて、多くのヒントをいただきました。

本県においても、障害や障害者への理解促進が図られ、障害のある人もない人も互いに認め合い、尊重し、支え合いながら暮らす地域共生社会の実現に向け取り組んで参りますので、引き続き御理解、御協力をお願いいたします。

お し ら せ

令和7年度 栃木県支部総会及び第1回研修会のご案内

日時:5月24日(土) 13:30から

会場:とちぎ健康の森 教室 A(2F)

研修会:管理期保健師が今、学ぶべきOJT

～自己成長感を感じられるOJTを目指して～

講師 獨協医科大学看護学部

特任教授 守田孝恵 氏

★守田先生は、地域保健福祉職員研修 保健師等階層別研修において

新任職員対象の対人援助基礎編の講師を担当していただいております。

たくさんの
御参加お待ちしております